

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表平6-505465

第2部門第6区分

(43) 公表日 平成6年(1994)6月23日

(51) Int. Cl.⁵

B 6 5 D 81/32

識別記号

庁内整理番号

F I

T 7501-3E

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求(全 6 頁)

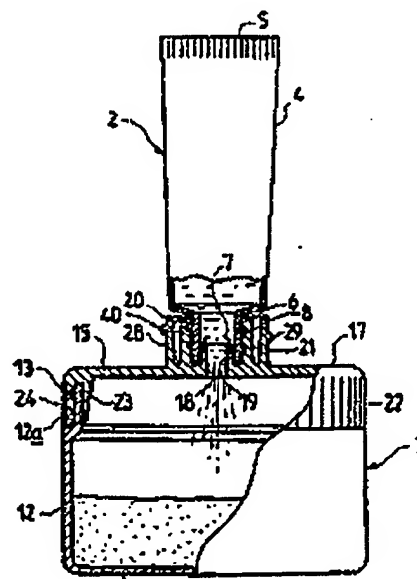
(21) 出願番号 特願平5-510408
 (86) (22) 出願日 平成4年(1992)12月16日
 (85) 翻訳文提出日 平成5年(1993)6月30日
 (86) 国際出願番号 PCT/FR92/01189
 (87) 国際公開番号 WO93/12989
 (87) 国際公開日 平成5年(1993)7月8日
 (31) 優先権主張番号 9115929
 (32) 優先日 1991年12月20日
 (33) 優先権主張国 フランス (FR)
 (81) 指定国 EP(AT, BE, CH, DE, DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, M C, NL, PT, SE), JP

(71) 出願人 ロレアル
 フランス国パリ75008、リュウ・ロアイヤ
 ル 14番
 (72) 発明者 ゴンカルヴ、アントナン
 フランス国モンモランシ95160、リュウ・
 デ・ガルラン 45番
 (74) 代理人 弁理士 真田 雄造 (外1名)

(54) 【発明の名称】 別別に貯蔵された互いに異なる2つの製品を混合するようにした混合アセンブリ

(57) 【要約】

この混合アセンブリは、引抜きキャップ7を固定した頸部6を備え、取りはずし可能な閉鎖部材9により閉じられた第1の容器2とくにチューブと、取りはずし可能なカバー16を固定したふた15によりのど部を閉じた第2の容器3とくにポットとを包含する。カバー16はふた15の穴18を閉じる。この穴18は、第2図に示すように、第1の容器2が第2の容器3に固定されたときに、引抜きキャップ7をせん孔するせん孔装置19により縁部が形成される。



特 許 の 概 要

1. 互いに異なる2つの製品のうち1つをそれぞれ入れる2個の各別の容器を備え、これ等の2個の容器を、互いに連結するように相互に組合せることができるようにして成り、別別に貯蔵された互いに異なる2つの製品を混合するようにした混合アセンブリにおいて、

引抜きキャップ(7)を固定した蓋部(8)を備え、前記引抜きキャップ(7)を操縦するように、取りはずし可能な閉鎖部材(9)を前記蓋部に固定し、手動の押圧力により空気を注入しないで内容物を抽出させることができる第1の容器(2)と、

2製品に形成した循環システムを備えたのど部を持つ、実質的に剛性の第2の容器(3)と、を備え、

前記2製品のうち一方は、前記第2の容器(3)ののど部に固定されたふた(15)であり、このふた(15)に設けた穴の縁部の近くにせん孔装置(19)を設け、

前記2容器うちの他方は、前記ふた(15)の穴(18)を閉じ、前記せん孔装置(19)を操縦するように、前記ふた(15)に固定した取りはずし可能なカバー(16)であり、

前記第1の容器(2)の蓋部(6)に、前記閉鎖部材(9)の取りはずし後に、この第1の容器(2)のみを

(2)の蓋部(6)の前記ねじ(8)に相補的なねじ(21)を旋けたことを特徴とする、請求項5の混合アセンブリ、

7. 前記円筒形の第1のすそ部分(20)を、この第1のすそ部分(20)に同軸の円筒形の第2のすそ部分(28)により囲み、この第2のすそ部分(28)の外側に、前記カバー(16)に設けた補付手段に相補的な補付手段(29)を設けたことを特徴とする、請求項6の混合アセンブリ、

8. 前記円筒形の第2のすそ部分(28)の外側に設けた補付手段が、ねじ(29)であり、前記カバー(16)を操縦方向に回転させたことを特徴とする、請求項7の混合アセンブリ

9. 前記円筒形の第1及び第2のすそ部分(20、28)を、環状のハウジング(40)により互いに隣接し、このハウジングを外側に開放し、前記カバー(16)が前記ふた(15)に固定されたときに、前記カバー(16)の蓋部の内側に作った密封すそ部分(30)を、前記ハウジングが、前記開放した区域に充入れることができるようにしたことを特徴とする、請求項6ないし8のいずれか1つの混合アセンブリ、

10. 前記第1及び第2のすそ部分(20、28)が、実質的に同じ高さを持ち、前記環状のハウジング(40)が実質的に前記第2の全体にわたって延びるように

特 許 平 6-505465 (2)

(15)に形成した相補的部材(21)に対し相互作用することのできる補付部材(8)を設けて、前記第1の容器(2)を前記第2の容器(3)上に固定することにより、この操作中に前記せん孔装置(19)が、前記引抜きキャップ(7)をせん孔するようにしたことを特徴とする混合アセンブリ、

11. 前記第1の容器が、たわみ性材料で作ったチューブであることを特徴とする、請求項1の混合アセンブリ、

3. 前記第2の容器が、蓋部の広いゲット(3)であることを特徴とする、請求項1又は2のいずれかの混合アセンブリ、

4. 前記せん孔装置(19)を、前記ふた(15)の穴(18)を囲む環状の蓋部を持つねじにより形成したことを特徴とする、請求項1ないし3のいずれか1つの混合アセンブリ、

5. 前記第1の容器(2)の蓋部(6)に設けた補付部材を、前記蓋部(6)の外側に設けたねじ(8)により形成し、このねじ(8)により取りはずし可能な閉鎖部材(9)を前記第1の容器(2)の蓋部(6)に操作させることができるようにしたことを特徴とする、請求項1ないし4のいずれか1つの混合アセンブリ、

6. 前記ふた(15)上にかつ前記せん孔装置(19)のまわりに、円筒形の第1のすそ部分(20)を配置し、このすそ部分(20)の内側に、前記第1の容器

11. 前記第2の容器(3)ののど部が、円筒状断面を持つ円筒部材であり、前記第2の容器(3)の蓋部の外側に設けたねじ(18)と、前記ふた(15)の側に开设して相補的な円筒部材(22)の内側に設けた相補的なねじ(24)との相対作用を使い、前記ふた(15)を前記第2の容器(3)に操作させたことを特徴とする、請求項1ないし10のいずれか1つの混合アセンブリ、

12. 前記ふた(15)に、前記円筒部材(22)と同軸の密封すそ部分(23)を設け、この密封すそ部分(23)が、前記第2の容器(3)ののど部の内側に押しつけられるようにしたことを特徴とする、請求項11の混合アセンブリ、

13. 前記円筒部材(22)の軸端と、前記ふた(15)の前記第1及び第2のすそ部分(20、28)の軸端とが互いに一致するようにしたことを特徴とする、請求項7及び11の混合アセンブリ、

14. 前記第2の容器(3)内の2つの製品を混合する手段の少なくとも1つ(31)をさらに設けたことを特徴とする請求項1ないし13のいずれか1つの混合アセンブリ、

明 細 書

発明の名称 別別に貯蔵された互いに異なる2つの製品を混合するようにした混合アセンブリ

技術分野

本発明は、相互に反応し、従って互いに接触した状態では貯蔵することができなくて、使用の直前に混合しなければならぬ互いに異なる2つの製品を混合する混合アセンブリに関する。

背景技術

たとえば有機物の酸化剤の場合について述べる。この場合オキシダント(oxygen)とオキシ化剤及び着色剤(colorizer)は、別別に貯蔵しなければならなくて、必要に応じて混合するときだけ混合する。酸化剤は、オキシダントを調剤したびんと、着色剤ペーストを調剤したチューブと、融い熱成形プラスチック管(シリ)とを含むオキシダント及び着色剤ペーストを内部で混合する包装品すなわち包装体(packaging)にして今日市販されている。この包装体は、2つの製品を管内で混合し得られる混合物を包装に装の直前に抽出するブレンを閉めることが多い。

この種の包装を考慮するとこの包装体はかさばり費用がかかり移動を要することしかできない。

し相互作用をすることのできる封付部材を設けて前記第1の容器を前記第2の容器上に固定し、この操作中に前記せん孔装置が、前記キャップをせん孔するようにしたことを特徴とする混合アセンブリにある。

前記第1の容器は、丸みだ材料で作ったチューブが好適である。使用者が混合を行う第2の容器はたとえば紙の筒状を持つ容器の広いボットが好適である。

前記せん孔装置は、ふたの穴を囲む薄い壁を持つ環から作るのがよいが、又穴のまわりに設置した複数の刃で作ってもよい。

前記第1の容器の頂部に設けた封付部材を、前記第2の容器の外側に設けたねじにより固定するのがよい。このねじはさらに取りはずし可能な固定部材を前記第1の容器の頂部に接合することができる。このようにして前記第2の容器は2つの製品を持つ。ふたには又前記せん孔装置のまわりに、前記第1の容器を前記第2の容器のふたに接合するように、前記第1の容器の頂部のねじに相補的なねじを設けた内壁を持つ円筒形の第1のすそ部分を配置するのが有利である。

第1のすそ部分に、この第1のすそ部分と前記の内筒形の第2のすそ部分により囲むのが有利である。この第2のすそ部分は、前記ふたにカバーを封付けるように、このカバーに設けた封付手段に相補的な封付手段を外側に設けてある。内筒形の第1及び第2のすそ部分は、側

特許平6-505465(8)

本発明によれば包装体と共に包装の費用が実質的に低減され、この結果を導くのに包装の一方を入れた一万の容器で混合混合を行う2つの製品を混合する混合アセンブリが得られる。

従って本発明の目的は、互いに異なる2つの製品のうちの1つとそれぞれ入れる2種の金属の容器を設けこれ等の2種の容器を、互いに連結するように相互に結合させることができるようにして成り、別別に貯蔵された互いに異なる2つの製品を混合するようにした混合アセンブリにおいて、

引込キャップを固定した蓋部を備え、前記引込キャップを保護するように、取りはずし可能な固定部材を前記蓋部に固定し、手動の押圧力により空気を吸入せよ内容物を抽出させることができる第1の容器と、

2部品に形成した防噴システムを収めたのど部を持つ実質的に剛性の第2の容器と、

を備え、

前記2部品のうちの一方は、前記第2の容器ののど部に固定されたふたであり、このふたの穴の周囲の近くにせん孔装置を設け、

前記2部品のうちの他方は、前記ふたの穴を閉じ、前記せん孔装置を保護するように、前記ふたに固定した取りはずし可能なカバーであり、

前記第1の容器の蓋部に、前記引込部材の取りはずし後に、この第1の容器のふたに形成した相補的部材に接

合ハウジングは、外側に開放し、前記カバーがふたに固定されたときに、前記カバーの蓋部の内面に押った密封すその部分を前記ハウジングが前記開放した区域に受入れることができるようにするのがよい。前記第1及び第2のすそ部分は互いにほぼ同じ高さを持つのがよい。前記第2のハウジングは実質的に前記高さの全体にわたって延びる。

前記第2の容器ののど部は円筒断面を持つ円筒部材がよい。前記第2の容器の蓋部の外側に設けたねじと、前記ふたのねじに対して相補的な内面に設けた相補的なねじとの相互作用を使い、前記ふたを前記第2の容器に接合する。前記ふたに、前記円筒部材と既述の密封すその部分を設けるのがよい。この密封すその部分が、前記第2の容器ののど部の内面に押しつけられる。前記円筒部材の軸線と、前記ふたの前記第1及び第2のすそ部分の軸線とは互いに一致する。

本発明混合アセンブリに、2つの製品を混合する手動のかきまぜ用具を設ける。このかきまぜ用具はブラシにより構成するのがよい。このかきまぜ用具は製品を混合し混合した製品を塗布することができる。

本発明混合アセンブリは又よく知られているように、混合物を塗布し、使用器具を使うとき使用者の手を保護するのに使うポリエチレンシートを熱結することにより形成される手袋を含んでいる。

特表平6-505465 (4)

用中に使用時は、第1の容器から陽極部材をはずしふたからカバーをはずす。次いで使用時は、第1の容器を第2の容器に2つの押付部材の相互作用により押付ける。この操作中には孔状部材は、筒状部材に固定したキャップにせしめられる。次いで使用時は、第1の容器の蓋を手動で押圧する。第1の容器の内面は、第2の容器にこの穴を差して入る。第1の容器がからになると、使用者はふたを第2の容器から出す。この場合2つの蓋が第2の容器内にある。使用者はこれ等の部品を第2の容器内で手動でせしめ具により結合する。

本発明の主眼を添付図面に併記した実施例について詳しく説明する。

図面の簡明な説明

第1図は本発明の混合アセンブリの上面の容器と一部を切欠いて示す断面図である。

第2図は第1図の混合アセンブリの上面の容器を互いに結合させた後の状態で一部を切欠いて示す側面図である。

第3図は第1の容器をからにした後にこの第1の容器に置かれた第2の容器のふたの断面図である。

第4図は混合操作中にふたをはずした後の第2の容器の断面図である。

実施例

本発明による混合アセンブリは図示していない包装部（packaging）を構成する。この包装部は、そ

れぞれ本発明の混合アセンブリの第1及び第2の容器を構成するチューブ（tube）2と底部の広いボット8とから成っている。チューブ2はたとえ酸化防止剤ペースト（oxidation resistant paste）を入れ、ボット8はオキシダントペーストを入れてある。チューブ2は、一端部を底部8により固定したねじ型をもつチューブ4である。底部8の反対側の端部でチューブ2は円筒形の底部8を備えている。チューブ2と一端に作り又はこのチューブに付加することのできる引線とキャップ7は、底部8の端部に固定してある。底部8の外壁にはねじ8を用成してある。円筒形のすそ部分を支える円筒形部材から成る引線部材（suspender）9は、ねじ10をねじ型部材8に固定してある。ねじ10は、引線部材9の円筒形のすそ部分の内面に位置させ底部8のねじ8に相補的（complementary）である。

ボット8は、剛性のプラスチック材から成る円筒形のボットである。ボット8は、扁平な円筒形部材11と円筒形の部材12とを備えている。部材12の上部部分（第1図に示した位置に示ける）は、ボット8ののど部12aを形成するように一側のみ凹部を持つ、のど部12bはねじ13を形成してある。ボット8にはふた15及びカバー16から成る閉鎖システムを固定してある。ふた15は、軸線方向の穴18を中心に形成した成形プラスチック材から成る円筒部17により構成してある。

カバー16は、円筒形のすそ部分26を周辺に位置させた扁平な円筒形部材25を備えている。すそ部分26の内面には、すそ部分28のねじ29と相互作用するねじ27を形成してある。カバー16は又、すそ部分26と同じ軸線を持つ密封すそ部分30を設けてあり、すそ部分30は、第3のすそ部分28の内面に等しい外壁を持つ。又密封すそ部分30は、カバー16をふた15にねじ込んだときに外部に露出するハウジング40の区域に位置する。

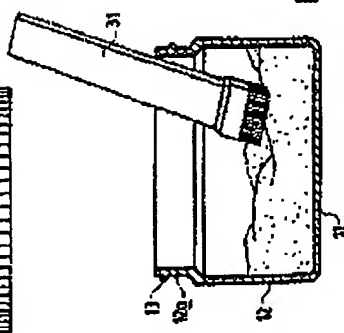
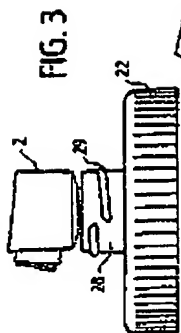
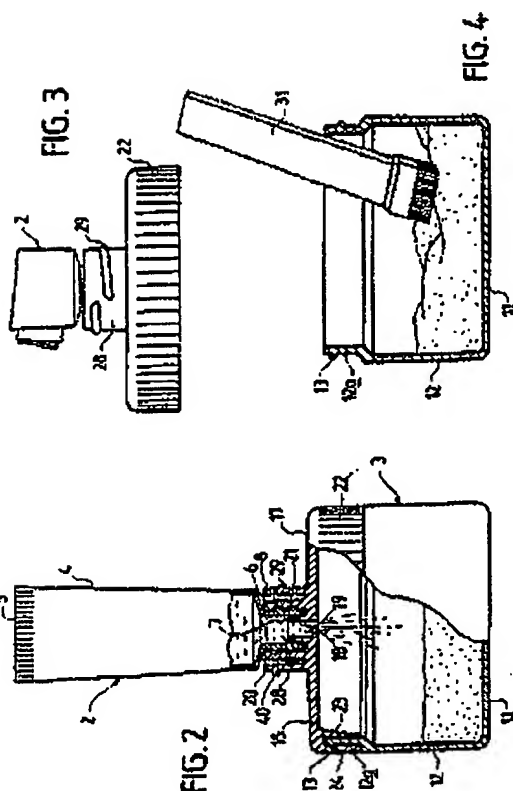
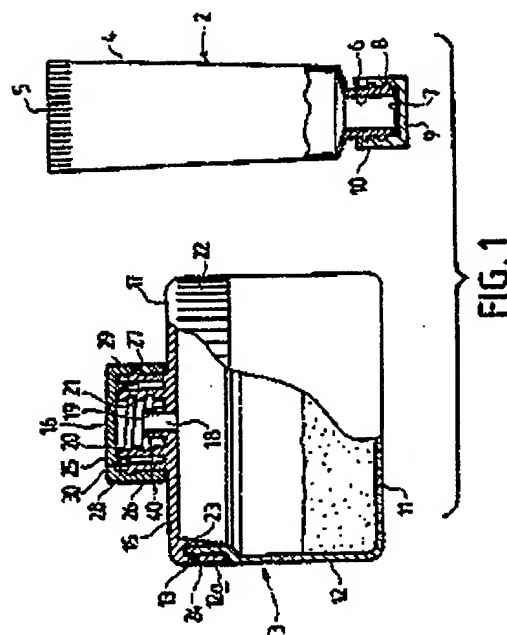
本発明による混合アセンブリはさらに、第1及び第2の容器をなわちチューブ2、ボット8と同じ包装部に入れるブレン31を備えている。

本発明の混合アセンブリは以下に述べるようにして使う。使用者はチューブ2から陽極部材9をはずし、この場合底部8はキャップ7だけにより固定される。使用者は又ボット8の閉鎖システムからカバー16をはずす。次いで使用者はすそ部分26にチューブ2の底部8のねじ8と相互作用する。このねじ込み中に穴10はキャップ7を引線（第2図参照）。この場合チューブ2及びボット8は、ふた15の穴18を越えて直結される。次いで使用者は第3図に示すようにチューブ2を返し、チューブ2に入れた状態は、この製品の若干を失うおそれなしにボット8に入る。次いで使用者は、チューブ2が固定さ

穴18は、ボット8の外壁に向く穴19から成るせん孔部材により密封が与えられる。穴19の密封は切刃部を形成するように作られている。円筒部材17は、底部8の蓋の厚さに所定のすきま内で等しい距離を底部8から隔てて位置する。第1のすそ部分20を支えている。第1のすそ部分20は、穴18及びねじ9と同じ軸線を持つ。第1のすそ部分20の内面は、チューブ2の底部8のねじ8に相補的ねじ21を形成してある。すそ部分20は、チューブ2の底部8の高さより高いがこれに近い高さを持つ。円筒部材17は円筒形の部材のすそ部分28を支えている。第2のすそ部分28は、穴18に又第1のすそ部分20と同様に第1のすそ部分20を囲み、この第1のすそ部分と同じ高さを持つ。第2のすそ部分28の外壁にはねじ29を形成してある。2つのすそ部分20、28の間にはそれぞれの金高より高い環状のハウジング40を設けてある。ハウジング40の存在によりねじ付すそ部分の隙間（misalignment）を容易にする。円筒部材17の周辺には、ボット8の方に向く円筒部材22を配置してある。円筒部材22は、ボット8の部材12の狭めでない部分における直徑に等しい外壁と、のど部12aの外壁に等しい内径とを持つ。円筒部材22の内面には、ボット8ののど部12bのねじ13と相互作用するねじ24を形成してある。円筒部材22と

特表平6-505465 (B)

要すだけでポントリから離す。次いで投胎者は、プランド1を使いポントリ内で2つの遺伝子(着床胚及びオキシダント)を混合することができる。使用後は色を黄えるように適量プランド1を投入したままに焼し、そして使用後はプランド1を使いこの混合物を洗濯に使用する。

[illegible]

INTERNATIONAL SPECIALS LINE INC.
P.O. Box 92-03189

www.PCT13.6.0 PW1 (the number of second hand 1042 PW1)

FR 9207289
\$0 89215

77b. Source lists the 1968/69 Agency response regarding the public controversy about the environmental consequences. The summary was included in the Domestic Policy Office [DPO] of the Domestic Policy Office. It is not very likely that these documents were ever clearly given for the purpose of dissemination. DB/TG/93

Abstract

For more on this subject, see (1997), the Official Journal of the European Communities, No. L25.

PA 5201189
SA 47:16

The contents are classified as CONFIDENTIAL unless otherwise indicated. This document is the property of the Department of Defense and is to be controlled as such. The Department of Defense is not responsible for the use or misuse of the information contained herein. 06/06/01

Author's Note

For more details about this report, see: Official Journal of The Bureau of Police Officer #1, Page 17-18